

# 平成23年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成23年9月16日

施設名	青少年センター	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

## 1. 施設の概要

施設所在地	高知県香南市野市町西野303-1
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営に関すること</li> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・設備の維持管理に関すること</li> <li>・主催事業及び受入事業の企画運営に関すること</li> </ul> <p>&lt;平成22年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙の中の地球</li> <li>・化石を見つけよう!</li> <li>・マンガ教室</li> <li>・世界の製造業ツアー</li> <li>・地場産業ツアー(土佐打ち刃物)</li> <li>・太陽系惑星の特徴!</li> <li>・のいちキャンプ村</li> <li>・70cm反射望遠鏡で宇宙を見よう!</li> <li>・地球の生い立ち! ジオパークで知ろう!</li> <li>・地球圏・ロケット・宇宙ステーションを知ろう</li> <li>・音楽家体験</li> <li>・門松づくり</li> <li>・君も化石博士になろう!</li> <li>・わいわいチャレンジ</li> <li>・高知くろしおキッズチャレンジ</li> </ul>
施設内容	<p>「青少年の健全な育成」と「スポーツの振興」の2つの役割を担っているが、これらのためにはとりわけ、義務教育段階などにある児童。生徒の心と体の伴った成長に資する取り組みが重要であることから、学校現場をはじめとした関係団体などと連携した社会教育や体力・競技力の向上などに向けた事業を推進している。</p> <p>構造: 本館 鉄筋コンクリート 3階建 延べ2,214.68㎡          宿泊棟 鉄筋コンクリート3階建 延べ1,416.72㎡          体育館 鉄筋コンクリート・小屋組木及び鉄骨造2階建 延べ9,330.81㎡</p> <p>施設概要:</p> <p>本館 青少年ホール(定員200名)          会議室(定員30名×3室)          視聴覚室(定員42名)          調理室(定員24名)</p> <p>別館 食堂(定員174名)          会議室 和室(定員20名×2室)          宿泊棟(定員151名)          浴室(大浴室・小浴室)</p> <p>野外炊飯棟 定員80名          補助グラウンド          ソフトボール球場          体育館 大アリーナ          小アリーナ          トレーニング室          医科学測定室          会議室</p> <p>陸上競技場兼、サッカー場</p>
職員体制	<p>職員: 所長 1名 次長 1名、事業課長 1名、チーフ 1名、主任 2名、主幹 1名、主任社会教育主事 1名、社会教育主事 2名、非常勤職員 1名          合計: 11名          現業部門は土佐青少年育成会に委託(12名)</p>

## 2. 利用実績

### (1) 宿泊者数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
人数	8,679	8,976	7,913	8,220	8,132	8,384

### (2) 利用団体数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
団体数	1,710	1,611	1,707	1,754	1,773	1,711

### (3) 利用者数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
人数	110,862	111,354	125,796	124,793	123,363	119,234

## 3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○理科分野を中心とした主催事業を新たに3プログラム新規開発し、学校の授業時数では対応が困難な実地体験の機会を提供している。</li> <li>○中一学級づくり合宿をはじめとした学校との連携が必要な事業については、学校教諭との事前打ち合わせや研修後の情報交換、アンケートの実施などを通じ、学校側と密接に連携した取組みを行っている。</li> <li>○県内小学生を中心として、スポーツに親しんでもらうきっかけづくりからジュニア選手の育成まで幅広い事業展開を行うことにより、県内の児童・生徒の体力・競技力の向上の取組みを行っている。</li> <li>○地域社会との連携・融合を図るために、地域ボランティアによる自然学習プログラムを編成、実施した。また、地域企業や産業団体の協力をいただき、研修や施設見学などを実施した。</li> <li>○施設のPRを行うための新しいパンフレットを県内全小中高等学校等に配布するとともに、主催事業チラシを作成して、高知市以東の全児童に配布した。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成23年3月に新たに更新した県立スポーツ施設ポータルサイトで、施設の空き状況の情報提供及び利用予約を出来るようにして、利用者の利便性の向上を図っている。(利用予約の3~4割程度がインターネット予約となっている)</li> <li>○外部講師を招聘した所内研修や車いす体験研修など施設自らがテーマを設けた研修を行うことで、職員の資質・指導力の向上を図っている。</li> <li>○受付専用の障害者パーキングスペースを設置し、気軽に利用していただける環境整備に努めている。</li> <li>○地震や津波に対する防災マニュアルの見直しを行ったうえで、緊急時の避難経路や避難場所について、掲示及び利用者への周知を図っている。</li> </ul>
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場環境づくりについて、毎朝打ち合わせを行い、平均で月2回程度、所長を含めた全員参加の所内会を実施するようにし、職員間の更なる協力体制及び意思疎通を図った。</li> <li>○施設内を定期的に巡回し、必要な修繕は可能な限り職員が行うなど経費削減と迅速な対応に努めている。</li> <li>○国の経済対策による臨時交付金等を活用して、大型バス巡回用の北駐車場出入口改修工事、別館窓枠取り換え工事、宿泊室ドア取り換え工事、芝刈りトラクター購入等を行った。</li> </ul>
④利用実績	<p>○平成21年度と比較して、利用者数は1,430人の減少(▲1.1%)、宿泊者数は88人減少(▲1.1%)したが、利用団体数は19団体増加(+1%)している。</p>
⑤収支の状況	<p>○体育館利用者の増加により、平成21年度と比較して、使用料収入は88千円の増収となった。</p>

<p>総合評価</p>	<p>A</p>	<p>○平成21年度開発の11プログラムの継続に加え、平成22年度に開発した3つのプログラムを加え、特に義務教育段階にある児童生徒に対して重点を置いた取り組みを行っている。</p> <p>○中一ギャップについて、研修前に学校訪問し密に打ち合わせをして、研修目的や利用者ニーズの把握に努めている。また、学校でも継続して取り組んでもらえる効果的なプログラム内容づくりを心がけている。</p> <p>○毎朝の職員打ち合わせや、月2回程度の所長を含めた全員参加の所内会を実施することにより、職員間の更なる協力体制及び意思疎通を図っている。</p> <p>○新たに更新した県立スポーツ施設ポータルサイトの開設により、利用者に対するサービス向上と施設利用予約開始日の窓口対応の混雑解消を図った。</p> <p>○職員の資質向上を図るため、外部研修への職員派遣はもとより、外部講師を招聘した研修会を開催するなど、絶えず新しい視点で、施設のレベルアップに取り組んでいる。</p> <p>○今後、更なる向上を目指して、以下の取り組みを期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の中心部に近いという立地環境や体育施設の充実といった施設の特色を活かして、新たなプログラム開発など引き続き積極的な事業展開を行うこと。</li> </ul>
-------------	----------	--